

HOYA

TECHNOSURGICAL



遠位設置型プレート

HTS Stellar D

HTS ステラプレートシステム

遠位設置型プレート

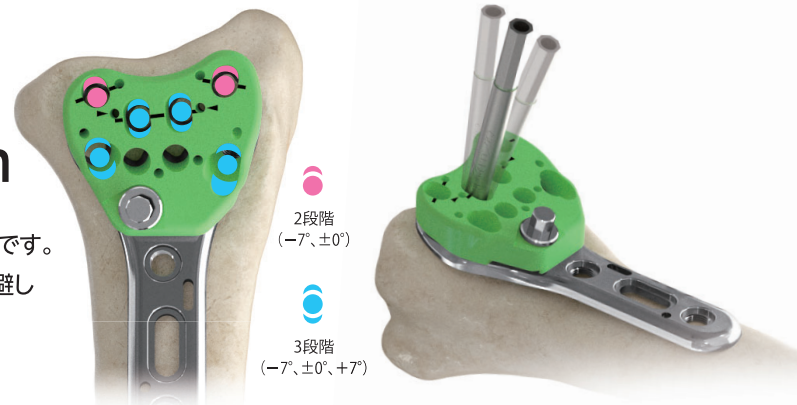
HTS Stellar D

Swing Lock Mechanism

固定性と操作性を追求した 独自のSwing Lock Mechanism

スクリュー角度を2または3段階の範囲で7度ずつ変更できるシステムです。
専用可変式ガイドブロックを使用することでスクリュー同士の干渉を回避し
ストレスフリーな操作を実現します。

- 遠位から2列目の最尺側のホールは尺側方向へも7°swing可能です。
- 遠位から2列目の最尺側のホールは桡側方向へも7°swing可能です。



FPL損傷リスクの低減を 目指したプレートデザイン

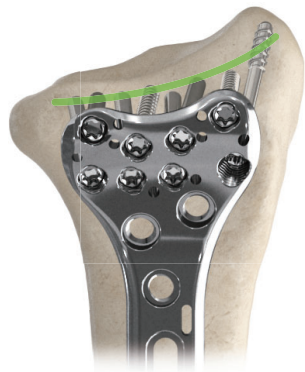
プレート中央を近位方向にラウンドカット、テーパエンド形状
にすることでFPL損傷リスクを低減させます。



日本人の骨CTデータに基づいた
遠位設置専用デザインです。

Cross Locking Mechanismによる 強固な関節面支持

橈骨傾斜に沿うように隙間なく配列された2列の
スクリューはただ一つとして平行となるものはありません。
関節外骨折では骨片の保持性が向上され、
関節内骨折においては関節面の強固な支持を実現します。



近位設置型/遠位設置型プレートのラインナップにより症例に応じた使い分けが可能

近位設置型プレート

HTS Stellar P



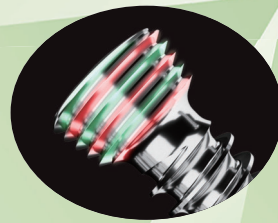
遠位設置型プレート

HTS Stellar D





遠位設置型プレート
HTS StellarD



すべてのロックングスクリューに
テーパー2条ねじを採用し操作性を向上

独自の固定システムと合併症の低減を追求した
遠位設置型プレートシステム

